

弾きたい、聴きたいモーツァルト

KV331

講師 ピアニスト 久元 祐子

「KV331の手書き楽譜発見！」のニュースが2014年9月、世界を駆け巡り、2015年には新版の楽譜も出版されました。自筆譜発見に基づく本邦初のCD録音を果たした講師によるKV331の講座です。これまで長く親しまれてきた版とどのように異なるのか、モーツァルト研究最前線の話も交え解釈、奏法などにアプローチし、モーツァルト・ソナタの中でも人気の高い「トルコ行進曲付き」ソナタの魅力に迫りたいと思います。(講師・記)



©Katsuo Sakayori

日時 2017年 5月6日(土) 13:00~14:30
受講料 会員 3,240円 (入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です。)
一般 3,888円
※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

- ※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。
- ※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。
- ※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
- ※ 個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内私書箱22号
tel 03-3344-1945
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>

<講師紹介>

久元祐子（ひさもと ゆうこ）

東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、国内外のオーケストラや弦楽四重奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。

シヨパン生誕 200 年記念年には、全国各地でブレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011 年ウィーンでのリサイタルで好評を博し、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りバーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012 年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛された。国立音楽大学准教授、日本ラトビア音楽協会理事。

これまでに CD12 作をリリース。「ハイドンとモーツァルト」は毎日新聞CD選に選ばれ、「ベートーヴェン”テレーゼ””ワルトシュタイン”」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン演奏」などの評価を得る。2015 年 12 月にリリースの最新アルバム「優雅なるモーツァルト」は、「レコード芸術」特選盤、毎日新聞の特薦盤となる。

著書に「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研)、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)「原典版で弾きたい！モーツァルトのピアノ・ソナタ」など。毎日 21 世紀賞特選受賞。

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>